

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年08月05日

計画の名称	雫石町安全で安心できるすまいづくり・まちづくり（防災・安全）														
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	雫石町														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		758	A	758	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年	令和5年度末	令和7年度末
1	都南処理区（雫石町）の重要な管路施設（マンホール）の機能確保率8.3％（R3当初）から16.7％（R7末）に増加させる。			
	都南処理区（雫石町）の重要な管路施設（マンホール）の機能確保率 改築・更新済箇所数（箇所）／改築・更新が必要な箇所数（箇所）	8%	8%	17%
2	都南処理区（雫石町）の重要な管渠の機能確保率を0％（R3当初）から5.9％（R7末）に増加させる。			
	都南処理区（雫石町）の重要な管渠の機能確保率 改築・更新済管渠延長（m）／改築・更新が必要な管渠延長（m）	0%	0%	6%
3	都南処理区（雫石町）の重要なマンホールポンプ施設の機能確保率を0％（R3当初）から16.7％（R7末）に増加させる。			
	都南処理区（雫石町）の重要なマンホールポンプ施設の機能確保率 改築・更新済箇所数（箇所）／改築・更新が必要な箇所数（箇所）	0%	8%	17%
4	都南処理区（雫石町）のポンプ場施設の機能確保率を0％（R3当初）から40％（R7末）に増加させる。			
	都南処理区（雫石町）のポンプ場施設の機能確保率 改築・更新済箇所数（箇所）／改築・更新が必要な箇所数（箇所）	0%	20%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	雫石町	直接	雫石町	-	改築	ストックマネジメント計画	計画策定	雫石町	■	■	■	■		150		-
	A07-002	下水道	一般	雫石町	直接	雫石町	管渠（ 汚水）	改築	管路施設（マンホール） 機能保全	2 4 箇所	雫石町			■	■	■	48		-
		ストックマネジメント																	
	A07-003	下水道	一般	雫石町	直接	雫石町	管渠（ 汚水）	改築	管渠機能保全	3 , 3 8 0 m	雫石町			■	■	■	350		-
		ストックマネジメント																	
	A07-004	下水道	一般	雫石町	直接	雫石町	管渠（ 汚水）	改築	マンホールポンプ施設機能保全	2 4 箇所	雫石町		■	■	■	■	36		-
		ストックマネジメント																	
	A07-005	下水道	一般	雫石町	直接	雫石町	ポンプ 場	改築	塩ヶ森汚水中継ポンプ場 施設機能保全	機械・電機施設他	雫石町	■	■	■	■	■	174		-
		ストックマネジメント																	
											小計						758		
										合計						758			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
雫石町上下水道課内において事後評価を実施。	令和 8 年 8 月
	公表の方法
	雫石町ホームページにて公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ストックマネジメント計画に基づいて下水道施設の改築更新を実施したことにより、下水道施設の健全度が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
ストックマネジメント計画を改定の上、下水道施設の耐震診断、耐震化工事を進め、安全・安心・快適な暮らしを実現する。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	マンホールの機能確保率		
	最 終 目標値	17%	交付金配分額が計画時の想定を下回ったため。
	最 終 実績値	8%	
2	管渠の機能確保率		
	最 終 目標値	6%	
	最 終 実績値	9%	
3	マンホールポンプ施設の機能確保率		
	最 終 目標値	17%	交付金配分額が計画時の想定を下回ったため。
	最 終 実績値	13%	
4	ポンプ場施設の機能確保率		
	最 終 目標値	40%	交付金配分額が計画時の想定を下回ったため。
	最 終 実績値	20%	